

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 上郡町スポーツセンター Cコート

試合区分: No. 213 成年女子 準決勝

期 日: 2006(H18)年10月3日(火)

主審: 高橋 尚裕

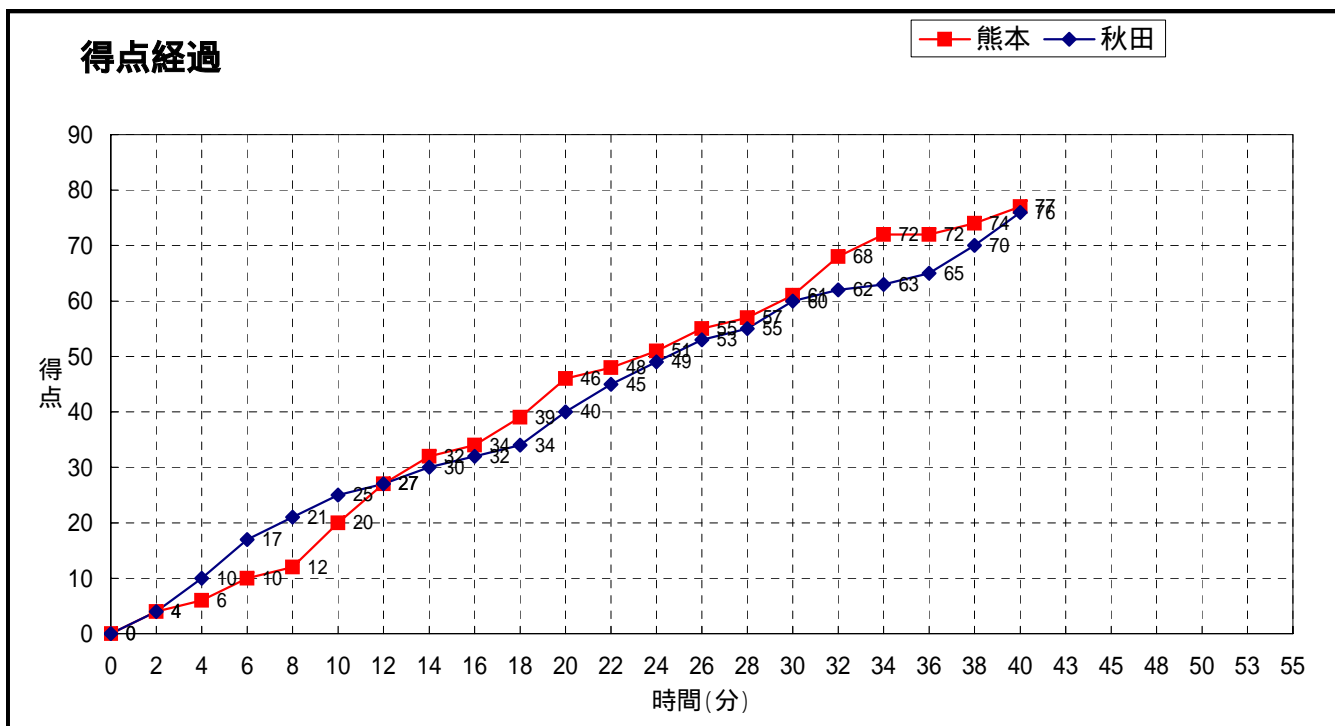
開始時間: 10:00

副審: 栗山 春美

終了時間: 11:25

熊本						秋田									
(九州)						(東北)									
77						76									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	村上 好美	0	0	0	0	0	4		松橋 美津代	2	0	1	0	0
5	*	土橋 里美	29	1	12	2	2	5	*	山手 陽子	10	0	4	2	3
6		川田 朋恵	-	-	-	-	-	6		大和谷 雅子	0	0	0	0	0
7		天川 道代	-	-	-	-	-	7	*	佐藤 麻衣	2	0	1	0	4
8	*	坂田 奈菜実	7	1	2	0	3	8		福司 恵美子	-	-	-	-	-
9	*	守田 佳代	17	1	4	6	2	9	*	伊藤 千佳	5	1	1	0	4
10		前田 由紀子	1	0	0	1	2	10	*	石岡 美香	15	0	6	3	4
11		吉田 舞	10	0	4	2	3	11		佐々木 智未	-	-	-	-	-
12		中島 雪枝	-	-	-	-	-	12	*	大畠 ゆり	28	4	7	2	4
13		馬場 晶子	1	0	0	1	1	13		有明 葵衣	14	0	6	2	2
14		内田 貴子	-	-	-	-	-	14		山内 晴美	-	-	-	-	-
15	*	米村 知紗	12	0	5	2	2	15		保坂 和音	-	-	-	-	-
コーチ		鹿毛 美智子						コーチ		木村 仁					
合計			77	3	27	14	15	合計			76	5	26	9	21

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、両チーム共にハーフコートマンツーマンで試合開始。秋田が#12大畠のすばやいカットインで先制する。これで流れをつかんだ秋田が、#10石岡のポストプレイ、#5山手のミドルシュート等で次々と得点。対する熊本も#15米村を中心に、インサイド、アウトサイドをうまく使い分けて攻撃したが、秋田が5点リードで終了した。第2ピリオド、熊本がオフェンスリバウンドを取って粘り強く攻め、開始2分#15米村のシュートで28-28の同点とした。その後5分間両チーム気迫あふれるプレイの連続で一進一退の攻防を繰り返す。一瞬たりとも目が離せない展開となり会場も大いに盛り上がる。残り3分、熊本は#5土橋の連続ゴールで41-34として一歩リードする。終了間際にも#15米村のカットインからシュートを決め、46-40で前半を終了する。第3ピリオド、前半の流れでリードを広げたい熊本は、秋田#12大畠のミドルシュートで先制を許す。これを機に秋田が#13有明の連続得点で開始3分で同点に追いつく。両チーム共に厳しいディフェンスで活路を見い出そうとするが、お互いに決め手を欠き、熊本が63-60とリードを保ったまま第3ピリオドを終える。第4ピリオド、秋田は#4松橋のカットインで先制するが、熊本は長身の#5土橋を中心に攻撃して確実に加点し、開始4分で72-63とリードを広げる。点を獲りたい秋田はメンバーチェンジをして流れを変えようとするが、熊本の厳しいディフェンスで思うように攻めることができない。残り2分、秋田がタイムアウト後にオールコートプレスディフェンスでボールを奪い、#12大畠の3Pシュートで74-70となり、追撃態勢にはいる。さらに秋田は#12大畠が連続で3Pシュートを沈めて74-73の1点差に詰め寄る。しかし残り1分、熊本#9守田も3Pシュート決め、逃げ切りを図る。粘る秋田も#12大畠が残り10秒で3Pシュートを決めるが一歩及ばず、熊本が77-76で決勝進出を果たした。

担当者: 丸山 明(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会